

# 《診断助成制度利用者アンケート結果の概要》

## I 目 的

神戸市の認知症施策を推進するための参考として、診断助成制度を利用された方を対象に、制度を知った方法、受診動機や受診後の気持ち・行動の変化、さらに認知症や軽度認知障害（MCI：Mild Cognitive Impairment）と診断された後に利用したサービスや必要だと思う支援などについて把握するためのアンケートを実施した。

## II 実施方法

○制度開始（平成 31 年 1 月 28 日）から令和 2 年 1 月 31 日までの約 1 年間に診断助成制度を利用された方について、「認知機能検診（第 1 段階）を受診された方」（アンケート①）と「認知機能検診を申し込んだが受診されなかった方」（アンケート②）の 2 グループに分け、そこから対象人数を抽出して郵送によりアンケートを実施した。

【アンケート①】・・・受診者 1,000 人（17,049 人から抽出）

【アンケート②】・・・未受診者 300 人（3,928 人から抽出）

○抽出にあたっては、性別・年代（5 歳ごと）を母集団と同じ比率で抽出する層化抽出法による無作為抽出を行った。なお、アンケート①については、検診結果の「認知症の疑いあり」「認知症の疑いなし」の方を半分ずつ抽出した。

○質問内容としては、アンケート①②共通で、制度を知った方法、受診動機、認知症と診断された方に必要だと思う支援について伺い、あわせて、アンケート①では、受診した医療機関を選んだ理由、受診後の気持ちや行動の変化、診断後に利用した制度やサービスなどを、アンケート②では、受診券を申し込んだが受診しなかった理由を伺った。

## III 実施時期

○発 送：令和 2 年 11 月 11 日

○回答期限：令和 2 年 12 月 11 日

## IV 回 答 数

《アンケート①》

送付数：1,000 人

回答数： 684 人

回答率： 68.4%

《アンケート②》

送付数： 300 人

回答数： 179 人

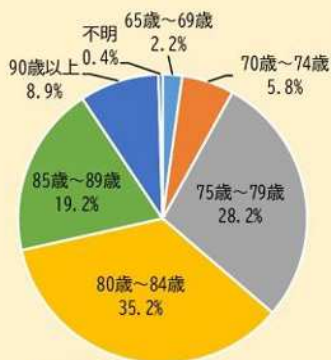
回答率： 59.7%



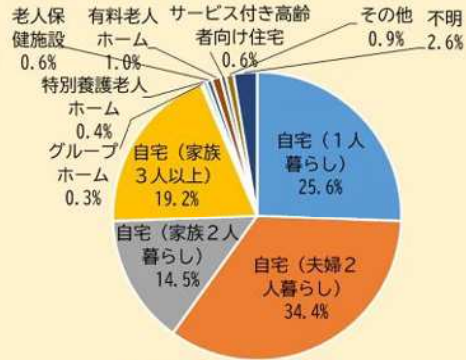
■受診された方の状況 \*回答者数：684人（アンケート①）



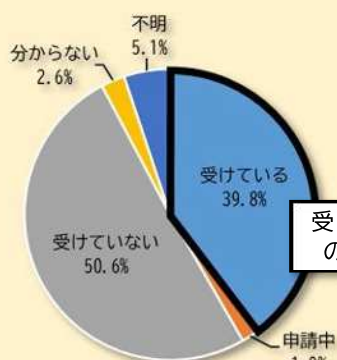
(男女)



(年代)

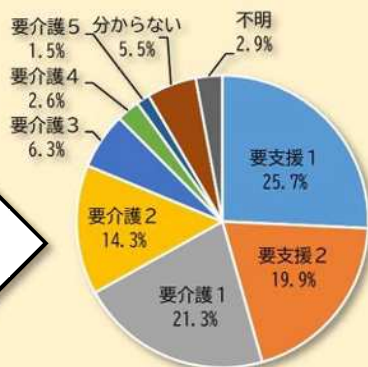


(お住まいの状況)



(介護保険の認定の状況)

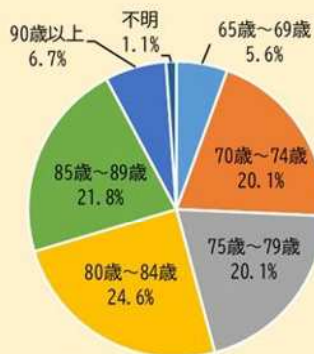
受けている方の認定区分



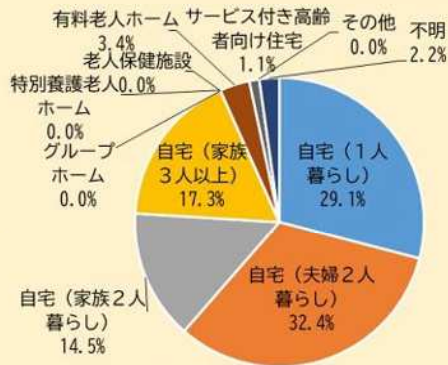
■受診予定だった方の状況 \*回答者数：179人（アンケート②）



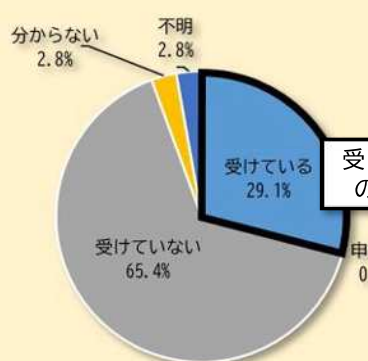
(男女)



(年代)

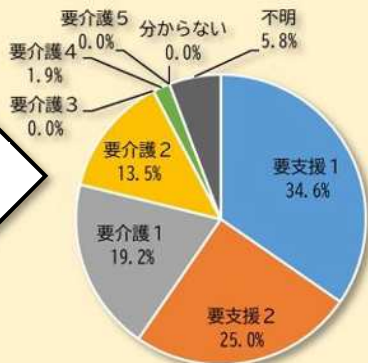


(お住まいの状況)



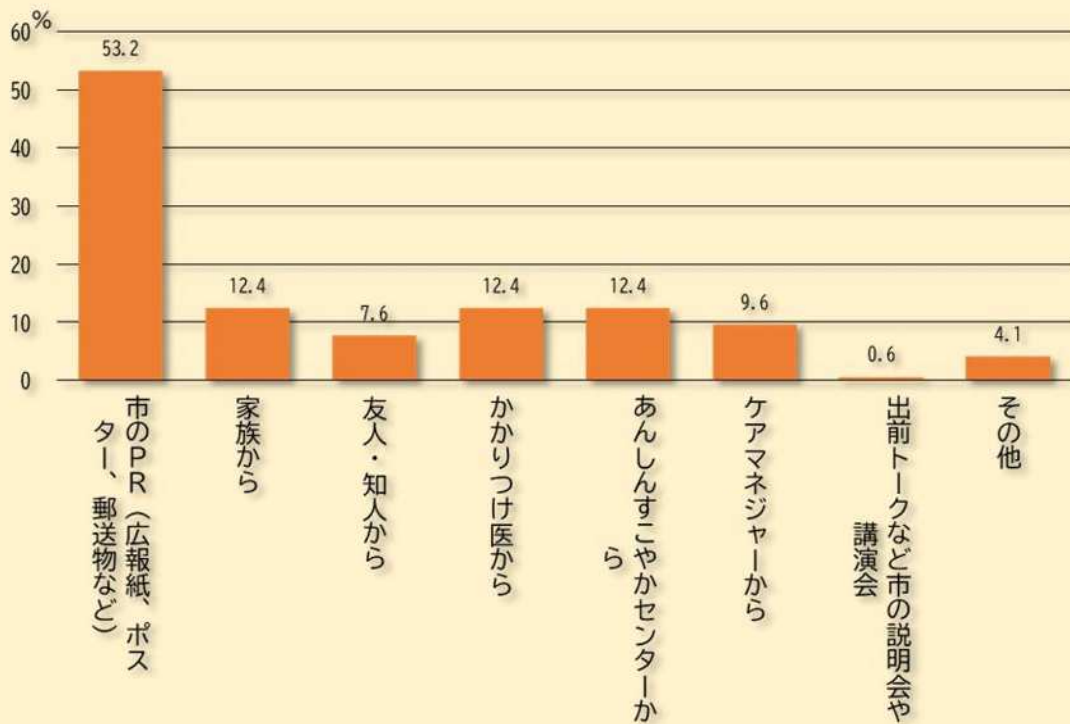
(介護保険の認定の状況)

受けている方の認定区分



■診断助成制度を知った方法（複数回答）

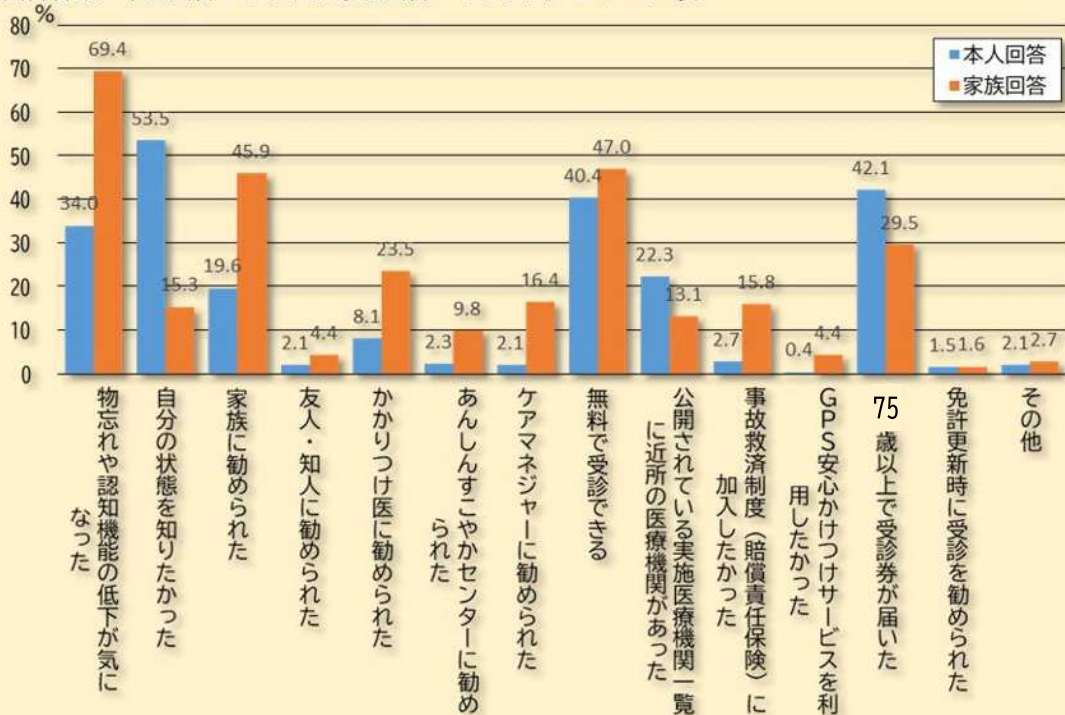
\*回答者数：863人（アンケート①②の合計）



その他の回答として、民生委員から、新聞・テレビの報道、インターネット、デイサービスで知った、職場で聞いた（2人が回答）、医療機関の広報誌で見たなど。

■受診しようと思ったきっかけ（複数回答）

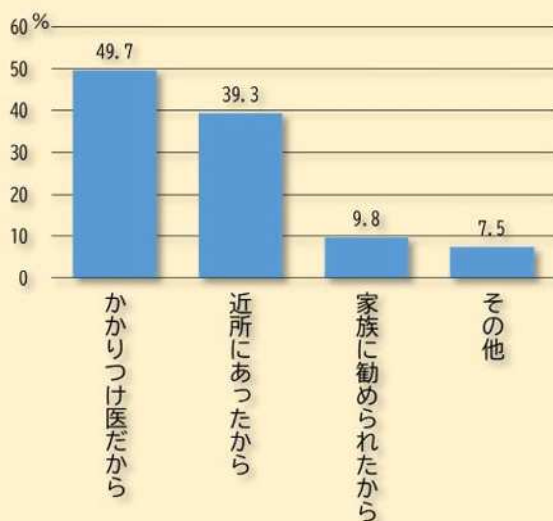
\*回答者数：本人回答480人、家族回答183人（アンケート①）



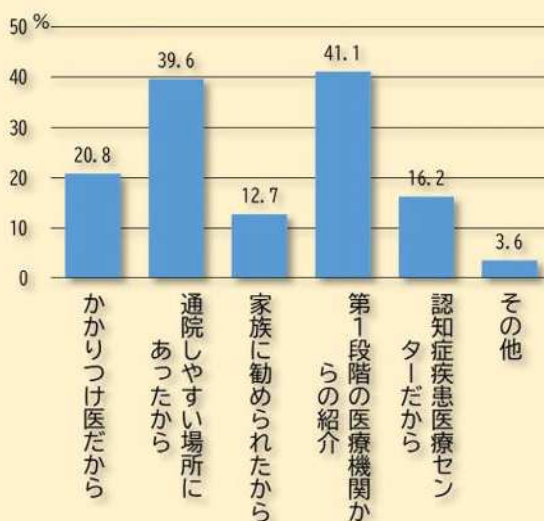
その他の回答として、言動がおかしくなってきた、出かけて迷子になった、幻覚・幻聴があった、配偶者に受診してもらうため、配偶者の受診のついでなど。

## ■医療機関を選んだ理由（複数回答）

《認知機能検診（第1段階）の医療機関》  
\*回答者数：684人（アンケート①）



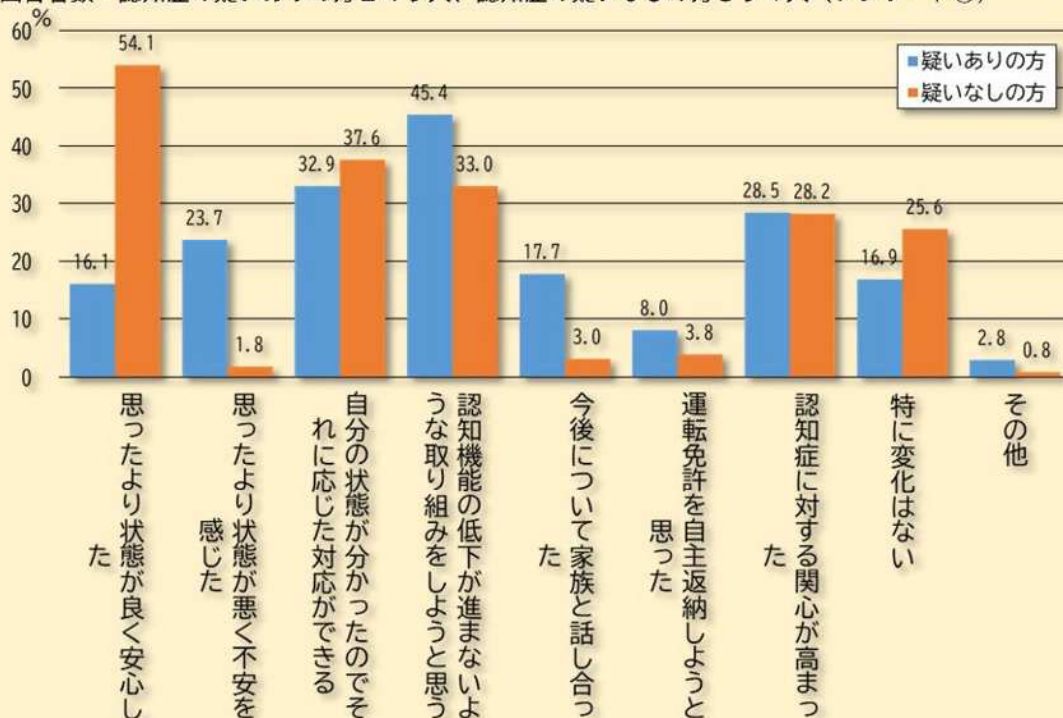
《認知機能精密検査（第2段階）の医療機関》  
\*回答者数：197人  
(アンケート①で第2段階を受診された方)



その他の回答として、第1段階の医療機関は、ケアマネジャーの勧め（6人が回答）、通院経験（本人・家族）があるから（4人が回答）、専門性の高い医療機関だから、認知症の外来があったからなど、第2段階は、第1段階の医療機関だから（4人が回答）、知人に教えてもらった、物忘れ外来があったからなど。

## ■認知機能検診（第1段階）の受診後の気持ちや行動の変化（複数回答）

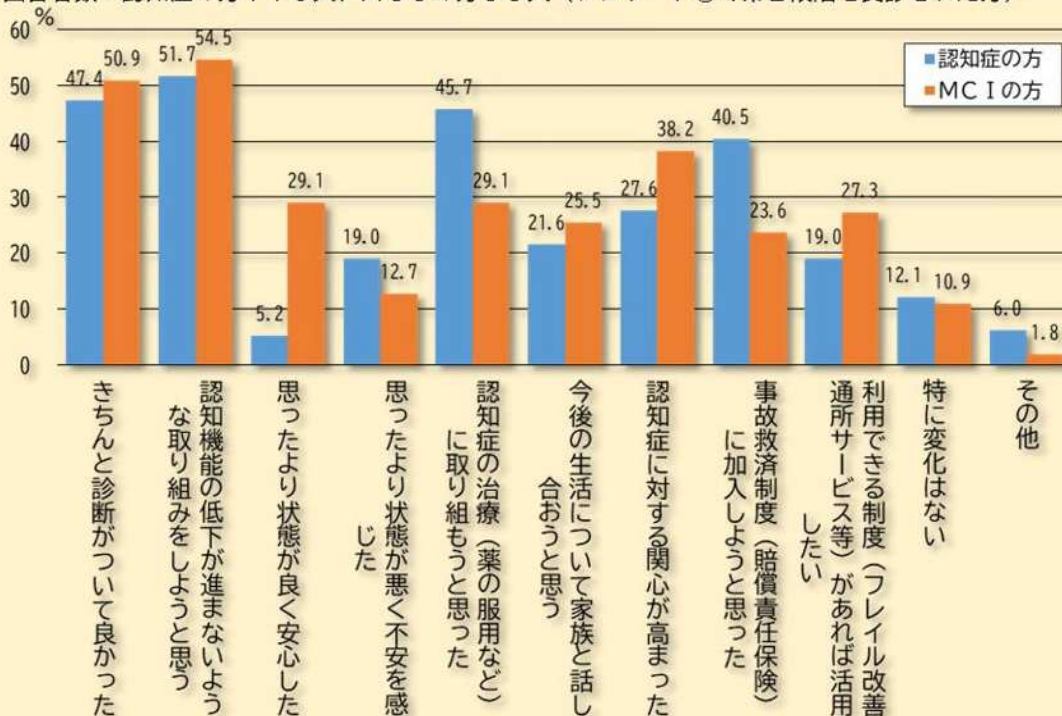
\*回答者数：認知症の疑いありの方249人、認知症の疑いなしの方394人（アンケート①）



その他の回答として、これから先が不安、本人が受け入れるのに時間がかかった、本人が認めないなど。

### ■認知機能精密検査（第2段階）の受診後の気持ちや行動の変化（複数回答）

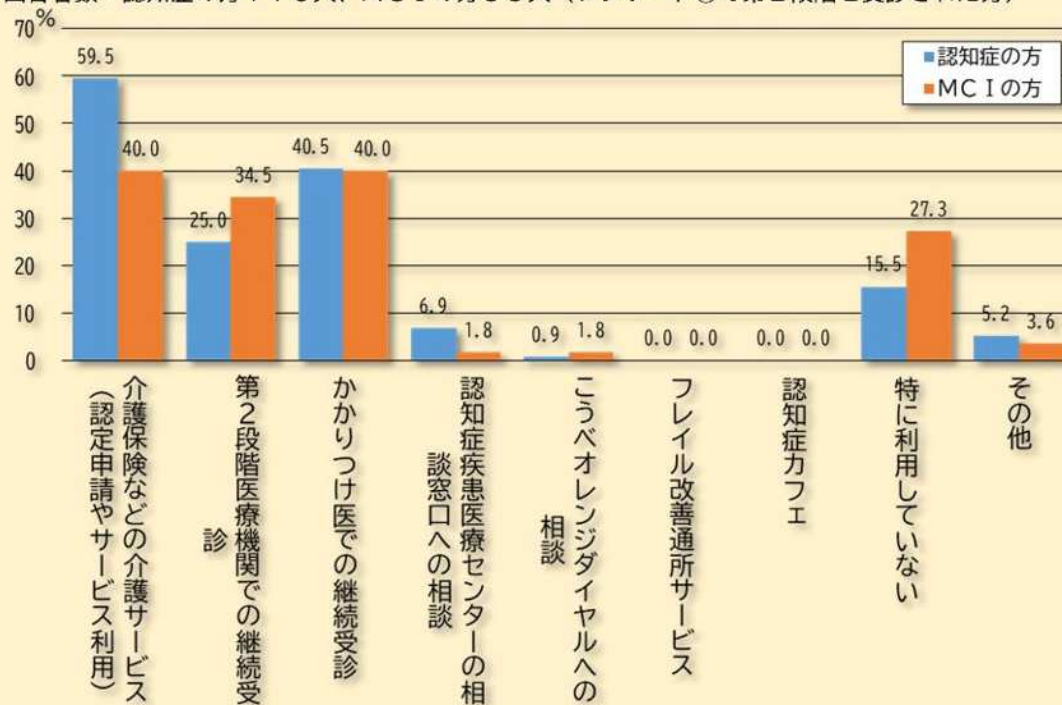
\*回答者数：認知症の方116人、MC Iの方55人（アンケート①で第2段階を受診された方）



その他の回答として、認知症のタイプが分かってよかった、本人はまだ認知症と認めて（自覚して）いない（3人が回答）、本人は自覚したがらず受け入れに時間がかかった、これから先の不安が大きいのなど。

### ■診断後に利用したサービスや制度（複数回答）

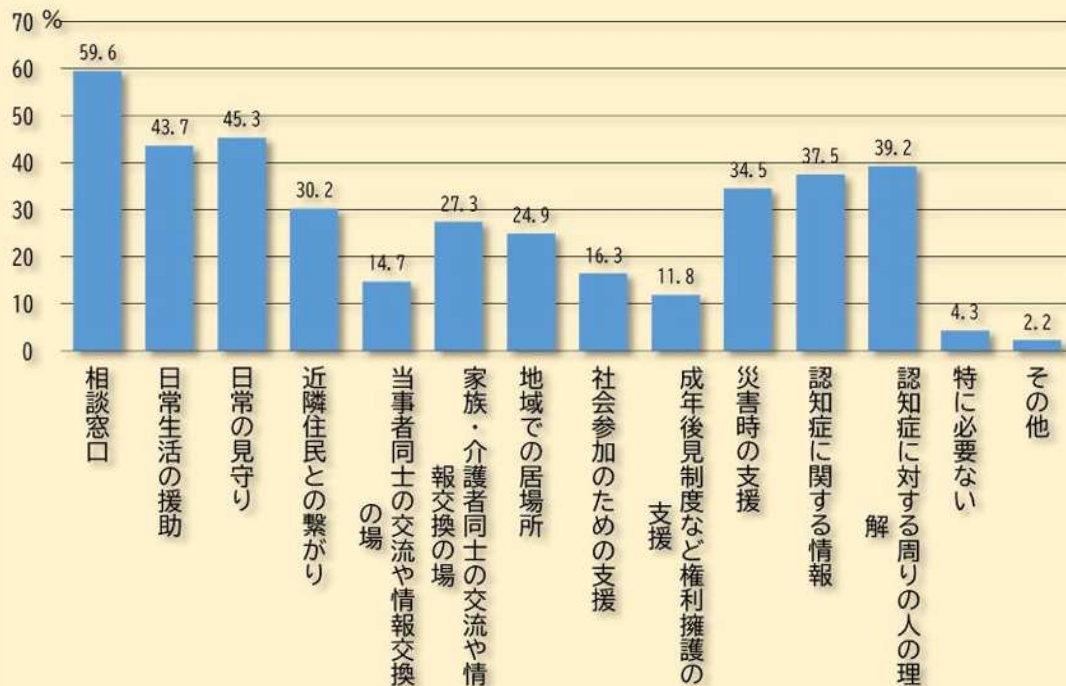
\*回答者数：認知症の方116人、MC Iの方55人（アンケート①で第2段階を受診された方）



その他の回答として、あんしんすこやかセンターに相談、介護施設に相談、ケアマネジャーに相談、話したり写真を見せたりしているなど。

## ■診断後の支援として必要だと思うもの（複数回答）

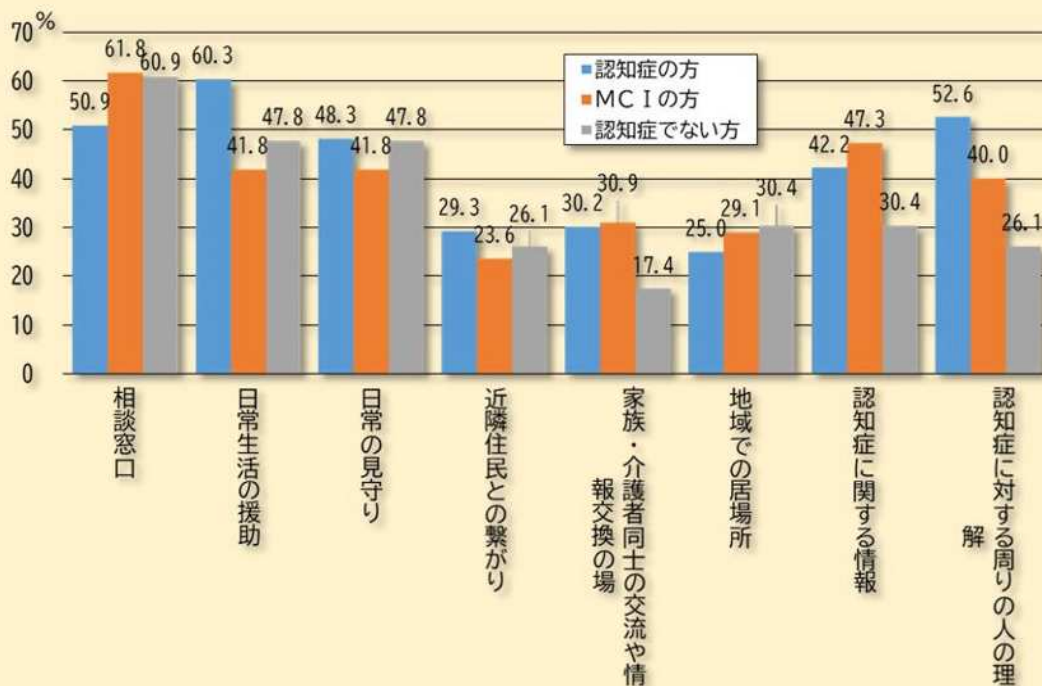
《全員の回答内容》 \*回答者数：863人（アンケート①②の合計）



その他の回答として、認知症と知った本人への不安を和らげるカウンセリング、一人暮らしの認知症の方の支援、公助の充実、押し売りの対応、一人で受診できる方法、家族に対するケアや支援など。

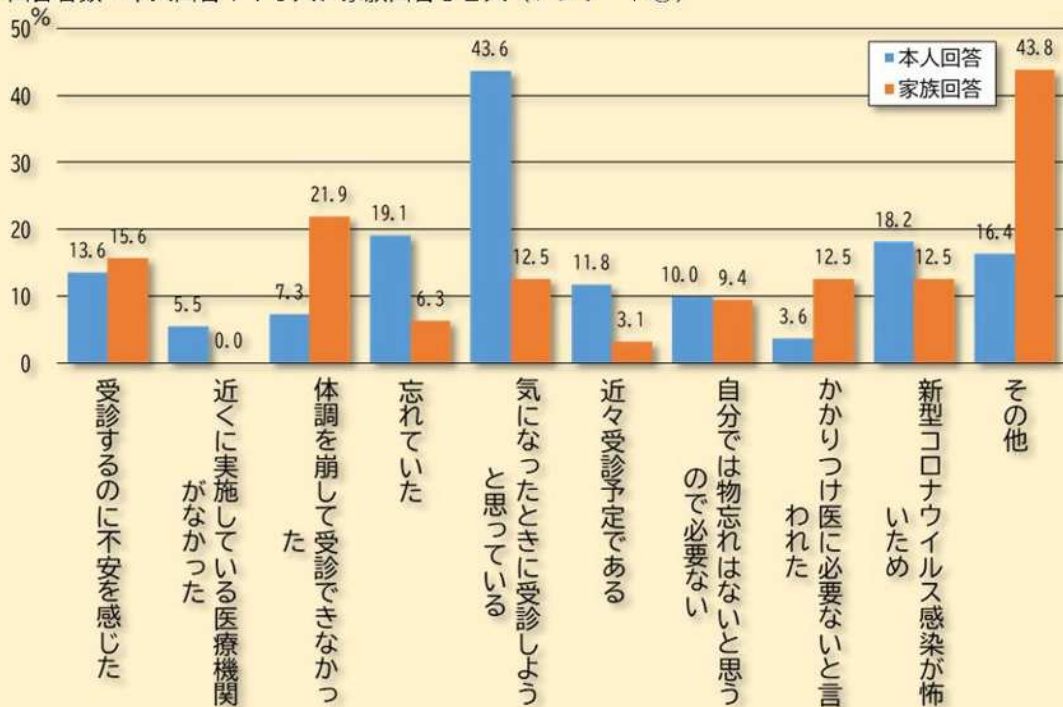
《診断結果別の回答内容》・・・主なものを抜粋

\*回答者数：認知症の方116人、MC Iの方55人、認知症でない方23人（アンケート①で第2段階を受診された方）



■受診券を申し込んだが受診されなかった理由（複数回答）

\*回答者数：本人回答110人、家族回答32人（アンケート②）

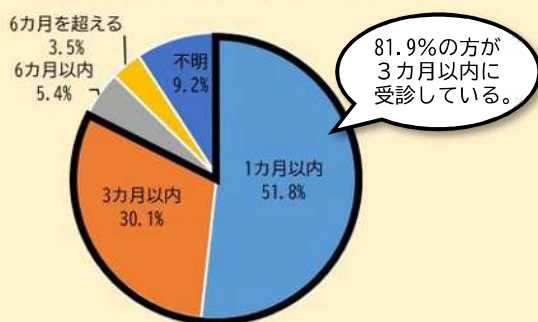


その他の回答として、別で受診した（3人が回答）、本人が受診したがらない（3人が回答）、同行者がいない（2人が回答）、配偶者の受診を横で見ても大丈夫だと思った（2人が回答）、主治医が実施していなかったなど。

■その他の内容

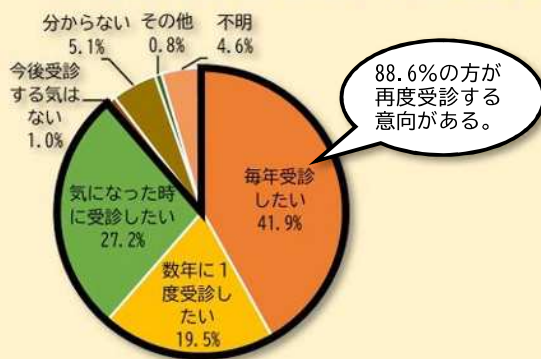
《受診券が届いてから認知機能検診（第1段階）受診までの期間》

\*回答者数：684人（アンケート①）



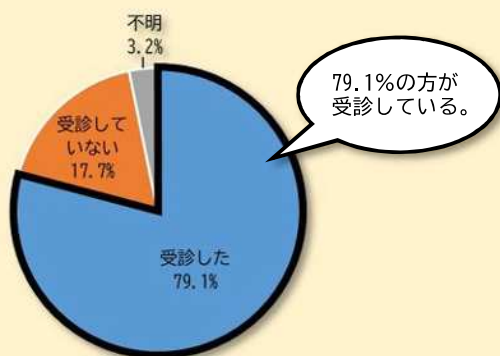
《認知機能検診（第1段階）の再度の受診意向》

\*回答者数：394人（アンケート①で疑いなしの方）



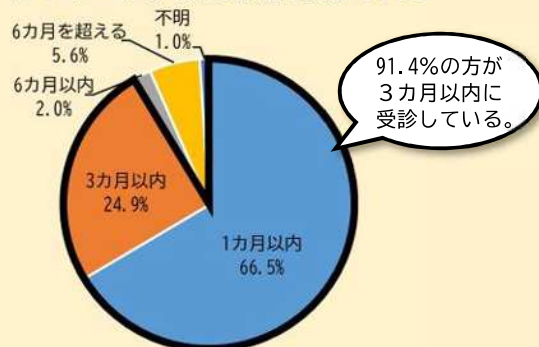
《認知機能精密検査（第2段階）の受診》

\*回答者数：249人（アンケート①で疑いありの方）



《認知機能検診（第1段階）を受診してから認知機能精密検査（第2段階）を受診するまでの期間》

\*回答者数：197人（アンケート①で第2段階を受診された方）



## ■自由意見（主なもの）

\*アンケート①とアンケート②あわせた内容

○診断助成制度全体として、「良い制度」、「利用できて助かった」、「継続してほしい」という意見があった。

○診断助成制度の良い点

- ・無料で受診できる
  - ・助成金が助かる
  - ・制度があれば安心できる
  - ・かかりつけ医で気軽に受診できた
  - ・医療機関の紹介がある
  - ・認知症に無関心な人も関心を持つようになる
  - ・毎年受診できる
  - ・自分の状態を知ることができる
  - ・受診券が届いた
- また、制度ができたことにより、「受診のきっかけとなった」、「受診しやすくなった」、「(家族に) 受診を勧めやすい」という意見があった。

○診断を受けたあととしては、「早く分かって良かった」、「今後に備えられる」、「はっきりと診断がでて良かった」、「介護保険を申請した」、「認知症かどうかが分かり、本人に対する理解ができた」、「自分を見つめなおすことができた」という意見があった。

○診断助成制度に対する提案

- ・制度が根付いて、必要な人が必要な時に利用できれば良いと思う
- ・早めの受診になるよう、もっと積極的に受診を促しても良いと思う
- ・制度を知らない人がまだいるのではないか
- ・また受診券を送ってほしい
- ・助成金をもう少し早く振込んでほしい
- ・助成金を後日返還ではなく、支払い時に適用してほしい
- ・もっとPRしたほうが良い
- ・受診券の有効期限がなければ良い
- ・対象者が全員受診したほうが良い
- ・訪問して検診してほしい
- ・本人の意志では難しいので家族以外でサポートする制度があれば良い
- ・かかりつけ医が登録されてなかったので登録してほしい

○その他の提案

- ・体を動かす場所があれば良いと思う
- ・情報発信してほしい
- ・家族が仕事を辞めずにすむような援助があれば助かる
- ・社会と接する機会の場を作ることが一番大事
- ・住民同士が顔見知りになることが大事だと思う
- ・認知症になるのを少しでも遅らせる方法などを広報紙などで啓発してほしい
- ・認知症にならないための講座等を開催してほしい
- ・日常生活の援助や相談窓口がほしい
- ・一人暮らしになっても安心して自宅で暮らせるような援助がほしい
- ・買い物支援など軽い支援が少ない
- ・介護する人への支援が必要
- ・診断後にどう対応すれば良いのかを専門職から家族に教える必要がある
- ・家族が仕事のときなどに見守れる場や支援がほしい

○その他、認知症になることへの不安がある、一人暮らしで不安だ、認知症になるのを少しでも遅らせるため日々心掛けているという意見があった。